

一生自分の歯で食べられる社会を目指して・・・



お口の健康ネットワーク 会報

Oral Health Network Newsletter No.30. 2016. 12



NPO法人 お口の健康ネットワーク

理事長 磯崎 篤 則

私は、10月1日からNPO法人お口の健康ネットワークの理事長を拝命しました磯崎篤則(朝日大学歯学部長・朝日大学歯学部教授)です。

私は、日本口腔衛生学会で渡邊先生に直接ブラッシング指導していただき、初めてつまようじ法を体験しました。「自分が望んでいたブラッシング法はこれだ！」と強烈な衝撃を受けました。先生が岡山大学の現役教授で、つまようじ法を用いた臨床・基礎研究を重ねておられる時代に、何回か先生とご一緒する機会を得ました。あるとき先生は、「僕が1日10人にブラッシング指導を10日間行なっても100人しかできない。」「自分の免許皆伝の人たちがつまようじ法をやってくれればもっと広がる」とも話しておられました。先生の「つまようじ法」を全国に普及したいという気持ちのこもった言葉だったと記憶しています。その後、私が朝日大学の教授となった時から直接学生につまようじ法を教えていただく機会を設け、講義を拝聴しました。その中で先生は、たとえ「つまようじ法」が臨床で良い結果を重ねても、論理を持って展開しなければ多くの人が理解してついてきてはくれないことを強調されておられました。大学病院の診療室だけでなく一般開業医で取り入れてくれる仲間探しをされていた時、私の同級生が「つまようじ法」を積極的に行い、受診者さんのアンケート調査結果を「第51回日本口腔衛生学会」において発表しました。

そんなお気持ちの中で先生は、2009年にNPO法人お口の健康ネットワークを立ち上げられました。大学教授は、森田先生と私がこのネットワークの1期生として参加しました。先生は「正しいつまようじ法」の伝授のために、要望があれば日本のどこにでも訪問実習に尽力され、そのサポーターも数人育てられました。今では、韓国、台湾、アメリカに「つまようじ法」を指示する有志が多く現れてきています。歯周病治療には、歯垢の徹底除去ではなく、宿主強化(歯肉の健康を取り戻す)して出血を止める論理の展開は、先生の長年にわたる研究の成果だと思います。渡邊先生の設立された「NPO法人お口の健康ネットワーク」を引き継いだ私は、以下の方針で進めたいと考えます。

1. 「つまようじ法」普及活動のため、ベーシックコースを受講しやすい日程、地域を模索しながら継続する。
2. アドバンスコースについては、委員会を設立し、会員の声を聴きながら内容を吟味し、継続する。
3. 全国にいる会員が「つまようじ法」の臨床成果、また、認定機関、認定歯科医師、認定歯科衛生士の皆さんの臨床で経験したことを発表する機会を受ける。
4. 「つまようじ法」のキャリブレーションを目的にお口の健康フェスティバルを開催する。
5. 委員会を設け、会員の声を聴きながら、機能的な会を運営していく。

皆様のご協力とご理解を期待して私のあいさつ文とします。

～岡山大インキュベータ204 よもやま話～

10月17日、大塚さん、石井さん、守屋さん、井上さん、4人の方が「つまようじ法」や歯の健康について知りたいと事務局へお越しになりました。

老人施設勤務のお子さんより「お母さん、つまようじ法って知っている」と尋ねられた石井さんは、今回の訪問に興味いっぱいと言われました。「つまようじ法」についての渡邊先生よりの説明や実験による効果について話を聞いた4人の方からたくさん質問がありました。

Q 「つまようじ法」でのブラッシングの方法はどうしたらわかりますか？

A 当会のHPを見てください。また、認定歯科衛生士や認定医療機関が登録されていますので、そこで指導をうけることが可能です。

Q 結局は自分の家で自分がしなければならないので、そのやり方を知っておくことが必要ですね。

A HPを見てください。また、一度体験をしてみらうと感覚で分かるようになります。

Q 今までは、歯ブラシは下の歯は下に向けて、上の歯は上に向けてと思っていました。

A 歯の間に歯ブラシの毛先を入れて、歯肉をマッサージするようにすることで歯肉が強くなり、宿主強化法となります。汚れを落とすことと、歯肉を強くすることは方法が違い、そこをうまく理解してもらっていないことが一般への理解が進んでいない理由かもしれないですね。

Q なかなか歯医者さんへは行きにくいですね。よっぽど痛くなるとかしないと行けません。

A 喜んで来てもらえる歯科医院を私たちは目指

しています。

Q 歯は大事だと聞いてはいますが、具体的には歯が健康だとどのように違うのですか。

A 歯は非常に細かいものも感知できます。噛むことは脳への刺激になります。歯とあごの骨と脳とは関連しています。また、歯を抜くと他の歯が浮いてぐらつくことがあります。

Q 歯のエナメル質はどうやって作れるのですか。

A 妊娠中に作られます。ですから母体の健康の影響が大きいかもしれません。エナメル質は再生しません。

Q 「つまようじ法」で歯磨きを指導してもらえことは非常にうれしいですが、それで歯医者さんの営業になりますか。

A 保険採用を目指していますが、まだそうなってはいません。「つまようじ法」の普及は患者さんの固定化率も高く、歯科医院の目的意識も変わるというメリットがあります。

Q 治療だけでなく歯の健康への指導をしてくれるのですね。

A 歯科医師と患者さんの信頼関係が大切です。

Q 私たち一般の人も会員になれますか。

A もちろんです NPO 法人は、入会を拒否することはできないシステムになっています。

Q ぜひ私達も入会したいと思います。

「歯は大切」という思いを活動に広げていく場をたくさん作ってほしい。たとえば、イベントに「つまようじ法」のブースを出してくれれば、そこで体験をして近くの歯科医院に行くことができる。

渡邊先生のブラッシングを体験してそのような声が上がっていました。

●認定医療機関制度については現在も協議中であり、変更等をまたお知らせします。

●認定歯科衛生士の登録について

以下の会員がお口の健康ネットワーク認定歯科衛生士として登録されました。

山脇 真由美	高知県	木下 尚子	鳥取県
福山 美穂	高知県	吉田 恵	鳥取県
中島 佐紀子	岐阜県	武本 美夕紀	福岡県
風早 沙紀	岡山県		以上 7名の方です

(平成 28 年 9 月承認分、登録順)

現在登録されている認定歯科衛生士は、228 名となりました。皆様の益々のご活躍を期待しております。

新 企 画

第 1 回 お口の健康フェスティバル(くちフェス)開催

“つまようじ法を極める”

まずは、今さら聞けない問題点 今解決すること

どうやって患者さんに説明するの？

どうやったら効果が上がるの？

どうやったら上手になるの？

4 歯科医院での取り組みを紹介いただき、つまようじ法の知識を共有します。その後、忌憚のない意見交換を計画しています。また、討論後、参加者相互の「つまようじ法」実習を計画しています。

参加の皆さんは、グローブ・マスクなどご持参願います。当日は業者のブースを設けております。これも併せてお楽しみください。

日時：平成 29 年 3 月 26 日 13：00～16：00

会場：岡山国際交流センター(岡山市北区奉還町 2 丁目 2-1)

* 皆さん奮ってのご参加をお待ちしています *

事務局より

10 月 1 日より事務局を担当しております大倉美恵でございます。すでにご案内をさせていただきましたが、新事務局として 1 人で奮闘しておりますが、会員の皆様にはご迷惑をおかけしております。現在、事務局は月曜から金曜日の午前 10 時より午後 5 時までを基本の時間としております。お電話を頂戴しながら不在のこともあるかと思いますが、お許しください。不在の場合は着信履歴を見て事務局よりお電話を差し上げます。お急ぎの場合はメッセージを吹き込んでいただければと存じます。どうぞ引き続きご支援とご協力をお願い申し上げます。(事務局/大倉美恵)

お口の健康ネットワーク会報 No.30

特定非営利活動法人お口の健康ネットワーク

〒700-8530 岡山市北区津島中 1-1-1

岡山大インキュベータ 204 号室

TEL. 086-250-2531 FAX. 086-250-2532

<http://www.oral-health-network.jp>

会員専用サイト：<http://www.ohn-member.com>

E-mail：jimukyoku@oral-health-network.jp